

第5次武雄市行政改革プラン(案)

(計画期間 R8年度～R12年度)

～未来へつなぐ 持続可能な行財政運営を目指して～

行政改革の目的

簡素で効率的な行政運営及び財政基盤の確立を図ることで、行政サービスの質を上げ、市民の暮らしをより良いものにする。

武雄市の課題

- ① 少子高齢化と人口減少の急速な進行
- ② 扶助費の増加
- ③ 公共施設の老朽化に伴う維持管理と更新
- ④ 財源不足による経常的な基金の取り崩し

●歳入・歳出・収支の見通し

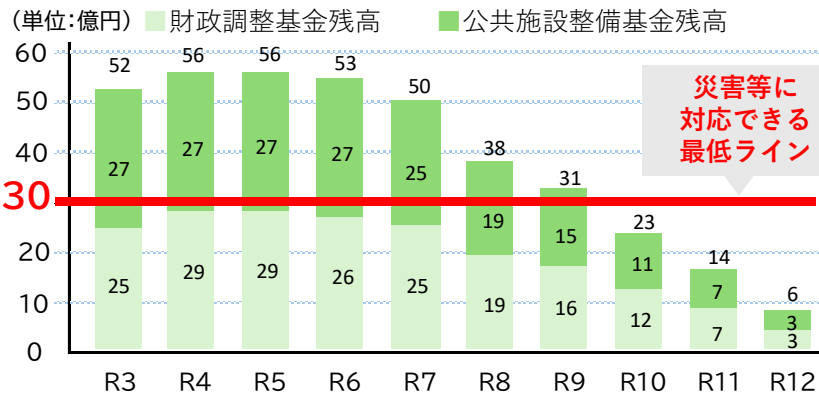
(単位:億円)

	R8	R9	R10	R11	R12
歳入	286	264	261	272	270
歳出	295	269	266	278	275
収支	▲9	▲5	▲5	▲6	▲5

※歳入には基金から毎年度3億円の繰入れ、歳出には0.5億円の基金積立て (R8・R9) を見込む。

▶ 今後5年間で約 **30億円** の財源不足

財政調整基金・公共施設整備基金残高見込み



概要版

【資料2】 本市の課題は第4次プランから変わらず存在

継続した取り組みが必要

基本目標

変化する社会の中で未来を見据えた財政基盤の強化

基本方針

- 基本方針1 人材育成と働き方改革
- 基本方針2 持続可能な行財政運営
- 基本方針3 市民との協働・民間活力の活用
- 基本方針4 デジタル化の推進による住民サービスの向上・業務効率化(重点項目)

主な取組項目と目標額

歳入確保目標額

23.7億円

歳出削減目標額

6.3億円

- ・税収の増加 0.2億円
収納率の向上、経済活性化策
- ・基金の効率的な運用 1.0億円
基金運用による利子収益の増
- ・ふるさと納税の強化 11.5億円
PR強化等による寄附の増
- ・他会計からの繰入 10.0億円
競争事業会計からの繰入金
- ・大学開学効果 0.5億円
税収増、土地貸付料
- ・ほか、遊休資産の売却、使用料改定等

- ・行政経費の削減 2.5億円
事務事業の取捨選択、優先順位付け
- ・公共施設マネジメント 1.0億円
公共施設の縮減、LED化等
- ・働き方改革・業務効率化 2.0億円
フロントヤード改革
業務管理の徹底→時間外手当削減
- ・公営企業の経営健全化 0.5億円
経営戦略に基づく経営健全化
- ・事務改善 0.3億円
ペーパーレス、節電等